

【防災対策についてのアンケート】

調査期間 R4.7.5 ～ R4.7.18
回答率 84.3% 回答者数 268人

アンケートの趣旨

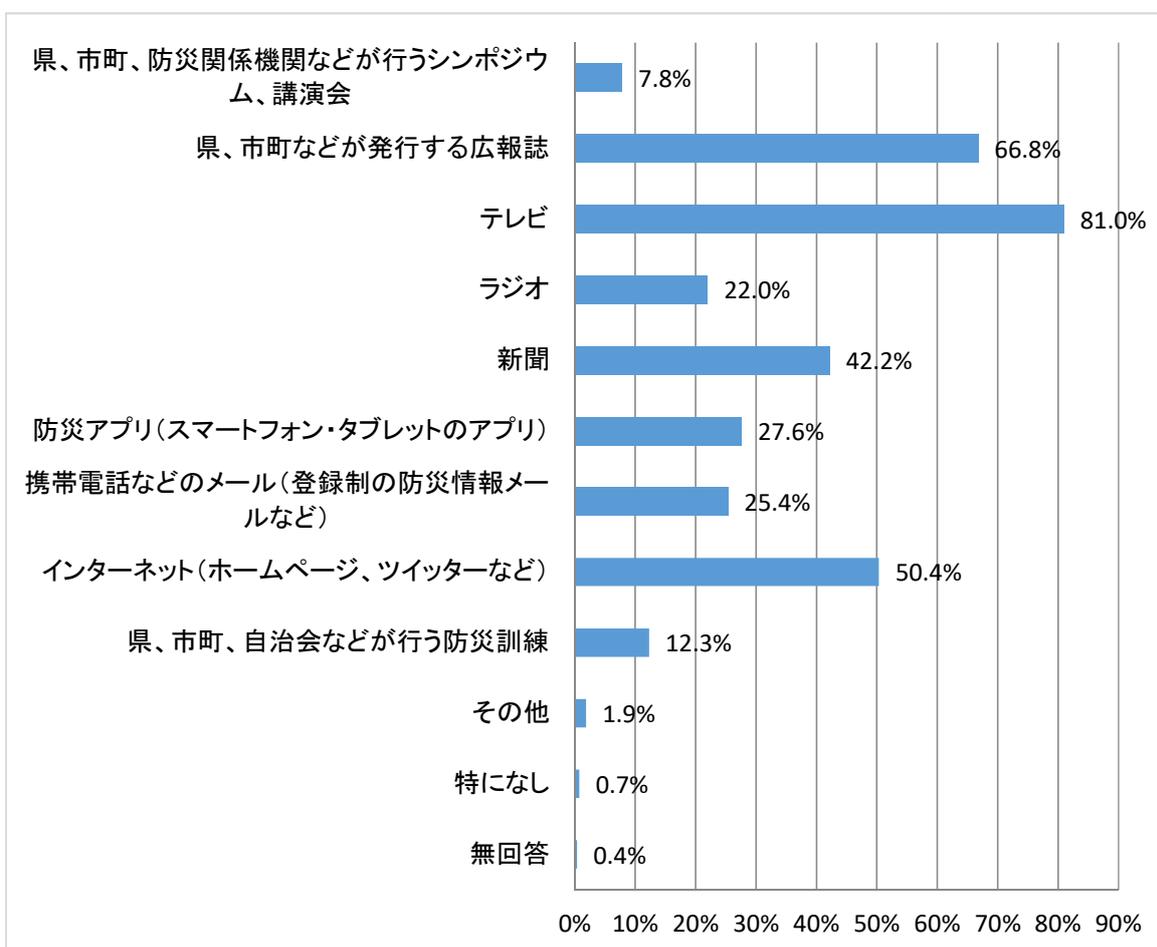
香川県では、自らの身は自らで守る「自助」、地域の安全は地域住民が互いに助け合って守る「共助」、行政による「公助」の連携を基本理念として、災害に強い県土づくりに取り組んでいます。

比較的災害が少ないと言われる香川県ですが、近い将来発生が予測されている南海トラフを震源とする地震で非常に強い揺れや津波による被害が予測されているほか、気候変動の影響などにより激甚化・頻発化する風水害が発生する可能性もあります。

このアンケートは、県民の皆さまの状況やご意見をお伺いし、県のこれまでの防災・減災対策の取り組みの検証を行うとともに、今後の施策に活かすことを目的として実施するものです。皆さまのご協力をお願いします。

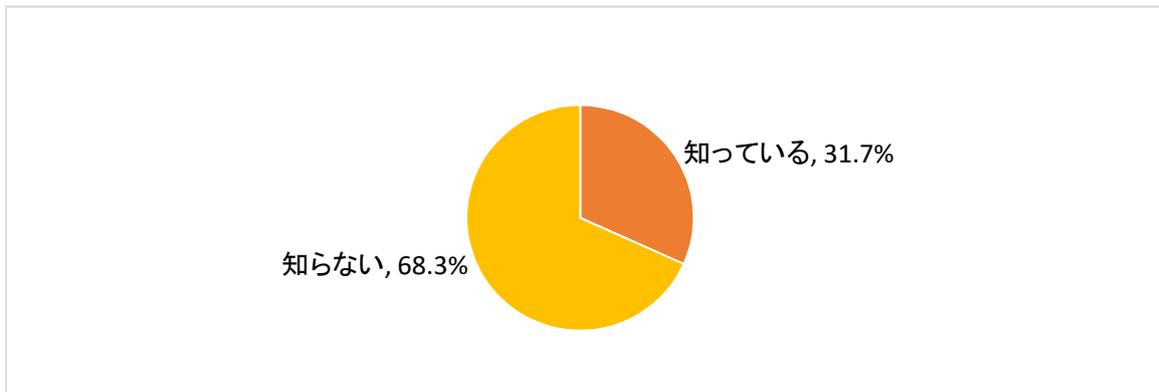
〔問1〕 あなたは、日頃、災害に関連する情報や防災対策の方法などについて、どのような手段を通じて情報を得ていますか。あてはまるものをすべて選んでください。

選択肢	回答者数 268	
	回答者数	構成比
県、市町、防災関係機関などが行うシンポジウム、講演会	21	7.8%
県、市町などが発行する広報誌	179	66.8%
テレビ	217	81.0%
ラジオ	59	22.0%
新聞	113	42.2%
防災アプリ(スマートフォン・タブレットのアプリ)	74	27.6%
携帯電話などのメール(登録制の防災情報メールなど)	68	25.4%
インターネット(ホームページ、ツイッターなど)	135	50.4%
県、市町、自治会などが行う防災訓練	33	12.3%
その他	5	1.9%
特になし	2	0.7%
無回答	1	0.4%



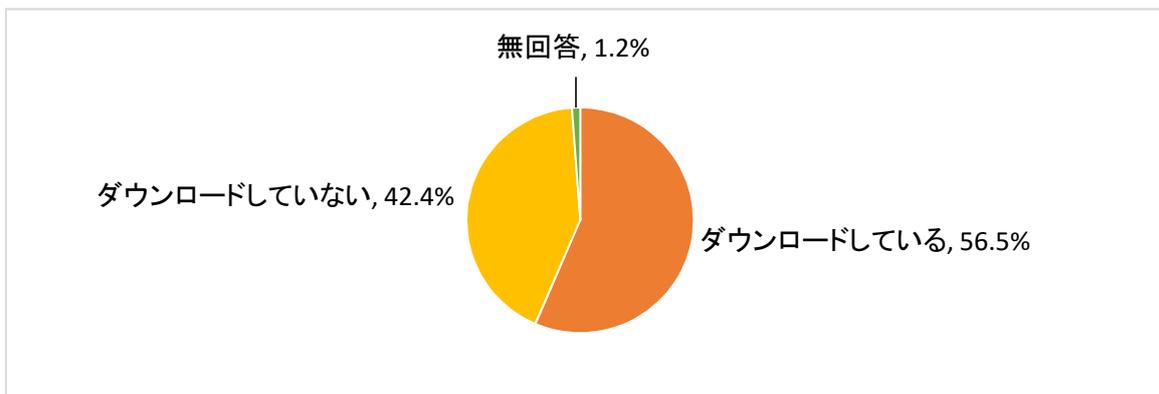
〔問2〕 あなたは、県が令和2年4月1日から、防災アプリ「香川県防災ナビ」を提供していることを知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
知っている	85	31.7%
知らない	183	68.3%
計	268	100.0%



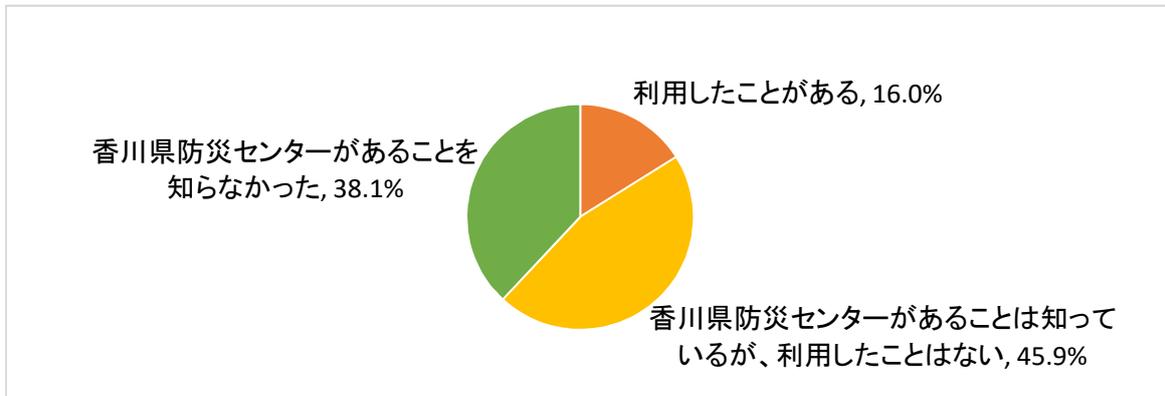
〔問2-1〕 問2で「知っている」と答えた方にお伺いします。
あなたは、防災アプリ「香川県防災ナビ」をダウンロードしていますか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
ダウンロードしている	48	56.5%
ダウンロードしていない	36	42.4%
無回答	1	1.2%
計	85	100.0%



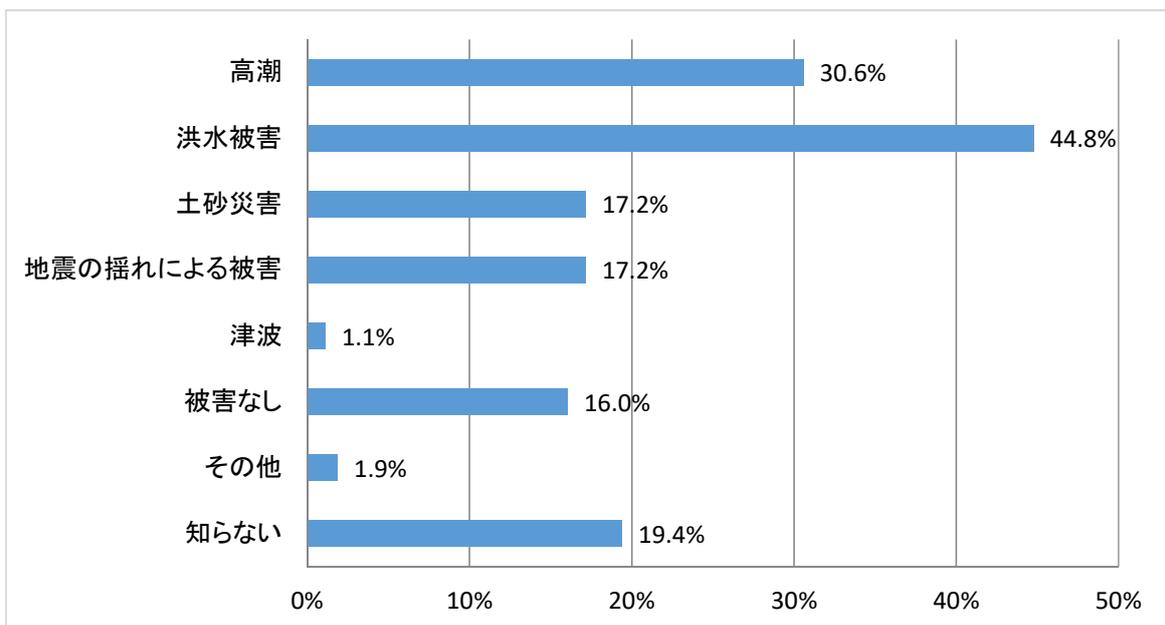
〔問3〕 あなたは、地震体験や消火体験などができる「香川県防災センター」（高松市生島町）を利用したことがありますか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
利用したことがある	43	16.0%
香川県防災センターがあることは知っているが、利用したことはない	123	45.9%
香川県防災センターがあることを知らなかった	102	38.1%
計	268	100.0%



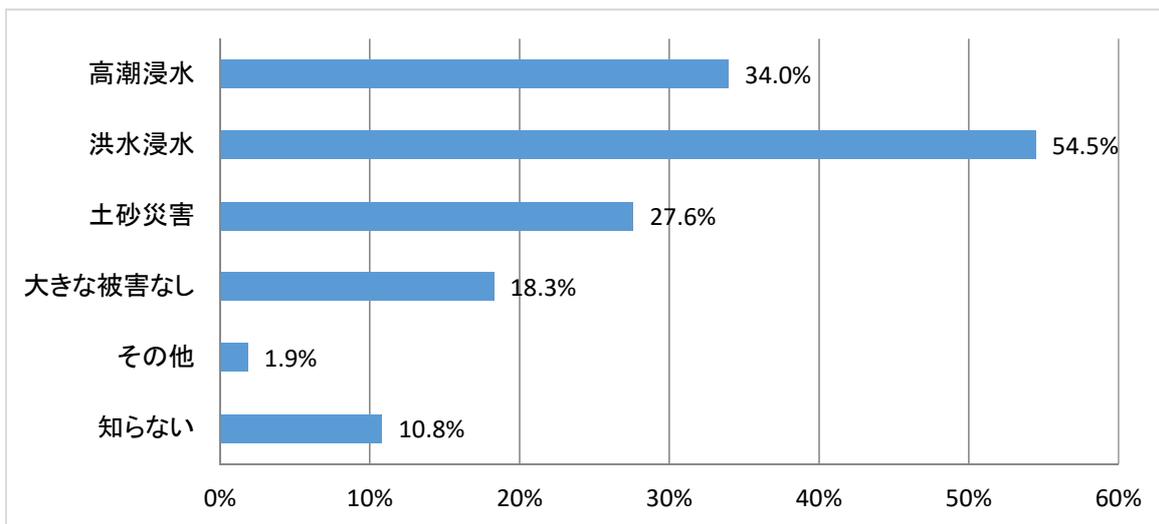
〔問4〕 あなたの住んでいる地域では、台風、集中豪雨などの風水害や地震などで、過去にどのような被害があったか知っていますか。次の中からあてはまる被害（被害なしも含む）をすべて選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
高潮	82	30.6%
洪水被害	120	44.8%
土砂災害	46	17.2%
地震の揺れによる被害	46	17.2%
津波	3	1.1%
被害なし	43	16.0%
その他	5	1.9%
知らない	52	19.4%



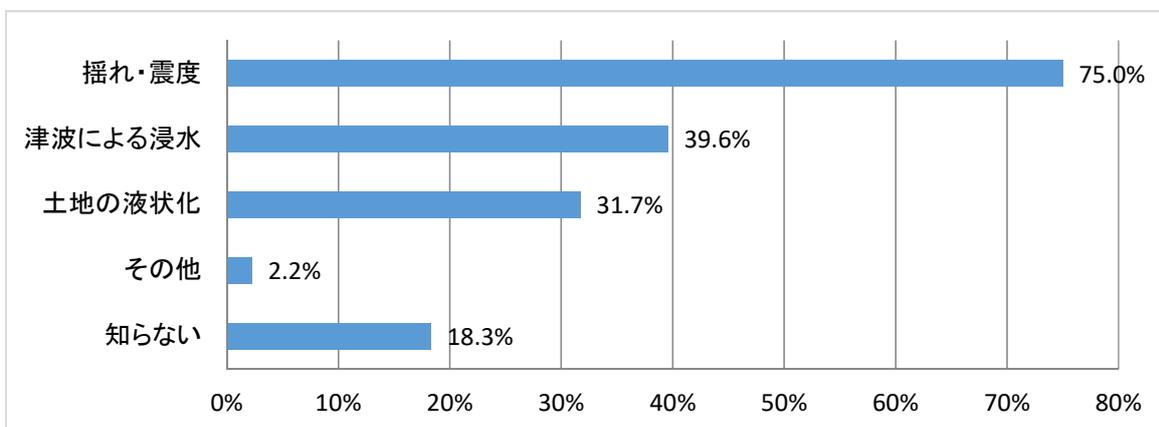
〔問5〕 あなたの住んでいる地域では、台風、集中豪雨などの風水害によって、どのような被害を受ける可能性があるか知っていますか。次の中からあてはまる被害（被害なしも含む）をすべて選んでください。

選択肢	回答者数 268	
	回答者数	構成比
高潮浸水	91	34.0%
洪水浸水	146	54.5%
土砂災害	74	27.6%
大きな被害なし	49	18.3%
その他	5	1.9%
知らない	29	10.8%



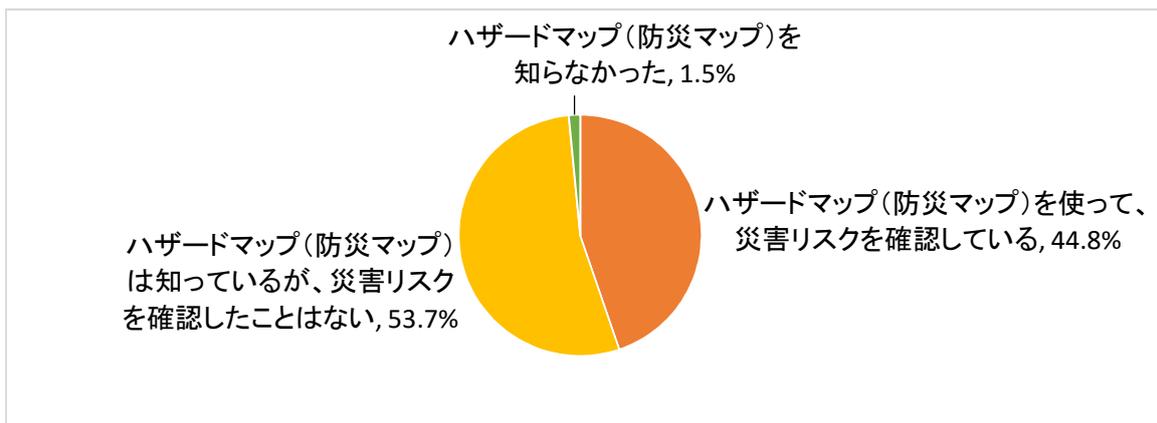
〔問6〕 県は、地震・津波被害想定や被害シナリオなどを公表していますが、あなたの住んでいる地域では、南海トラフを震源とする地震が発生した場合、どのような現象（揺れや津波、液状化など）や被害が予想されているか知っていますか。次の中からあてはまる被害をすべて選んでください。

選択肢	回答者数 268	
	回答者数	構成比
揺れ・震度	201	75.0%
津波による浸水	106	39.6%
土地の液状化	85	31.7%
その他	6	2.2%
知らない	49	18.3%



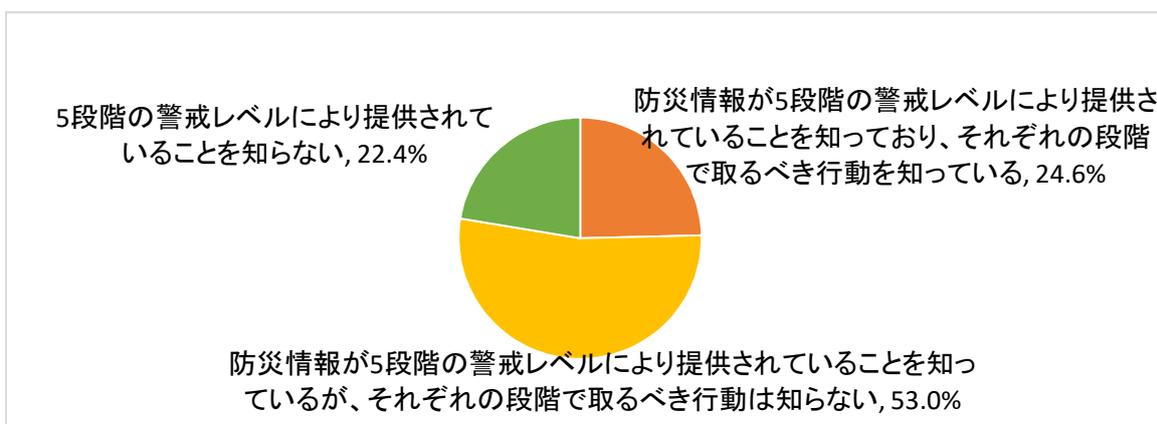
〔問7〕 地域でどのような災害が起こる可能性があるか（災害リスク）を確認できるものとして、ハザードマップ（防災マップ）があります。あなたは、ハザードマップ（防災マップ）を使って、災害リスクを確認していますか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
ハザードマップ(防災マップ)を使って、災害リスクを確認している	120	44.8%
ハザードマップ(防災マップ)は知っているが、災害リスクを確認したことはない	144	53.7%
ハザードマップ(防災マップ)を知らなかった	4	1.5%
計	268	100.0%



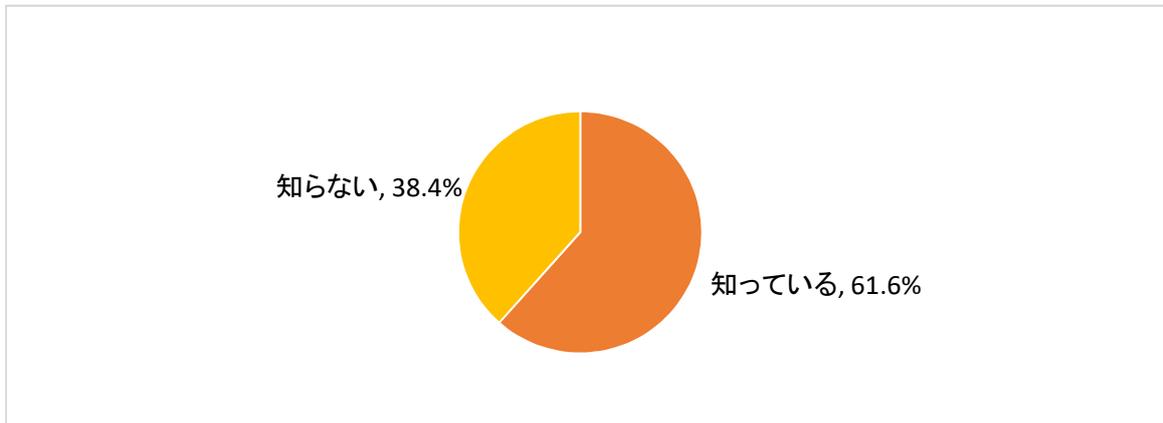
〔問8〕 あなたは、出された情報の意味を直感的に理解できるよう、防災情報が5段階の警戒レベルにより提供されていることを知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
防災情報が5段階の警戒レベルにより提供されていることを知っており、それぞれの段階で取るべき行動を知っている	66	24.6%
防災情報が5段階の警戒レベルにより提供されていることを知っていますが、それぞれの段階で取るべき行動は知らない	142	53.0%
5段階の警戒レベルにより提供されていることを知らない	60	22.4%
計	268	100.0%



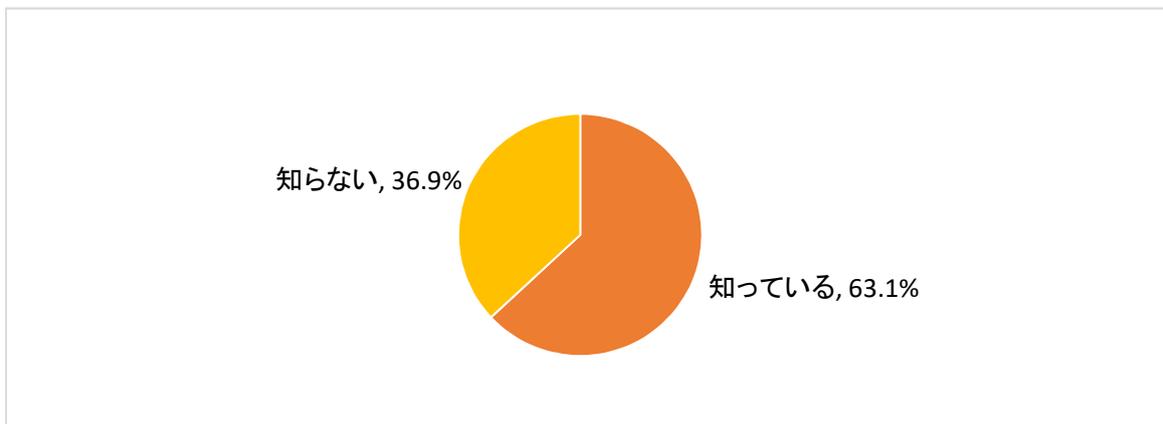
〔問9〕 あなたは、災害発生時に市町が発令する「避難勧告」「避難指示」について、令和3年5月20日から「避難勧告」が廃止され、「避難指示」で必ず避難するように改められたことを知っていますか。次の中からどちらか1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
知っている	165	61.6%
知らない	103	38.4%
計	268	100.0%



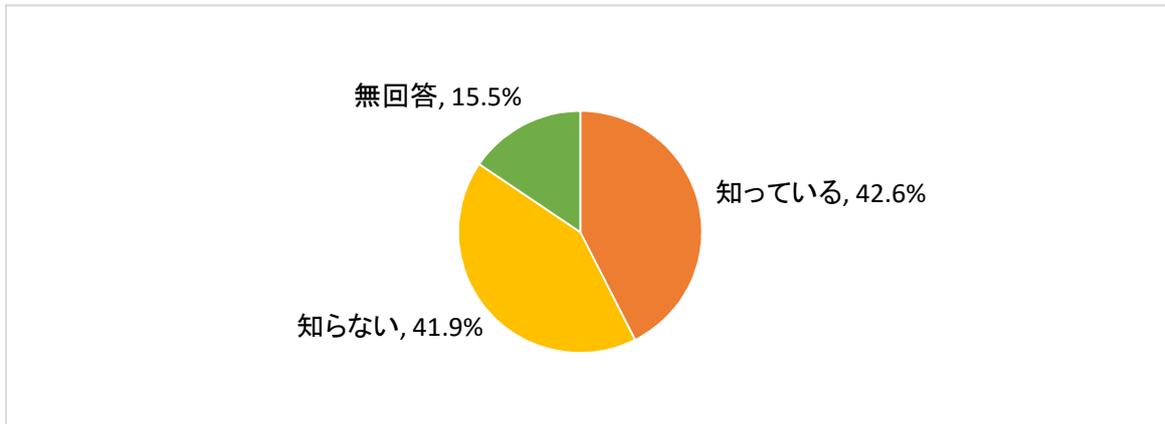
〔問10〕 あなたは、自宅で災害にあったとき、どのような経路でどこへ避難すればよいか知っていますか。次の中からどちらか1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
知っている	169	63.1%
知らない	99	36.9%
計	268	100.0%



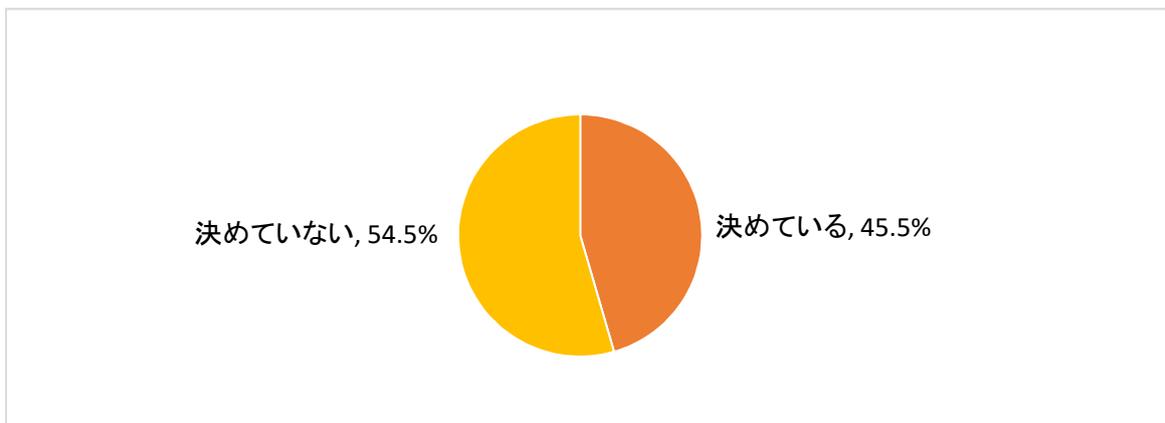
〔問11〕 お勤めまたは学生の方にお伺いします。
 あなたは、職場または学校で災害にあったとき、どのような経路でどこへ避難すればよいか知っていますか。次の中からどちらか1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
知っている	63	42.6%
知らない	62	41.9%
無回答	23	15.5%
計	148	100.0%



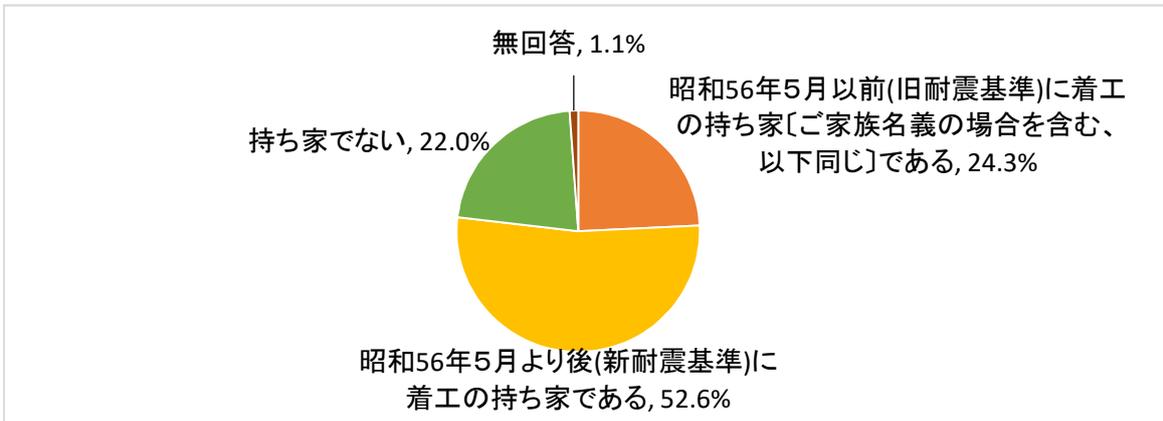
〔問12〕 あなたのご家庭では、避難した場合の家族の集合場所やお互いの連絡方法を、話し合って決めていますか。次の中からどちらか1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
決めている	122	45.5%
決めていない	146	54.5%
計	268	100.0%



〔問13〕 ご自宅についてお伺いします。次の中から1つだけ選んでください。

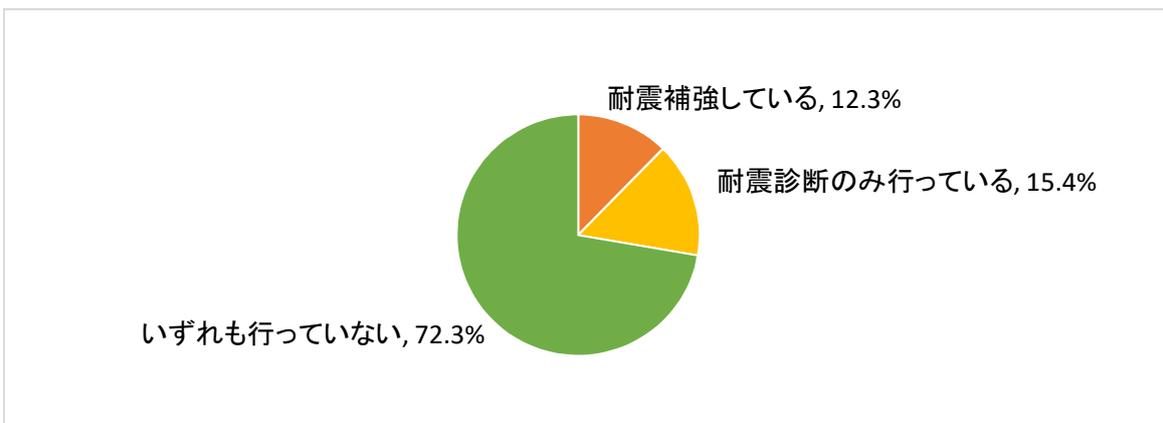
選択肢	回答者数	構成比
昭和56年5月以前(旧耐震基準)に着工の持ち家〔ご家族名義の場合を含む、以下同じ〕である	65	24.3%
昭和56年5月より後(新耐震基準)に着工の持ち家である	141	52.6%
持ち家でない	59	22.0%
無回答	3	1.1%
計	268	100.0%



〔問13-1〕 問13で「昭和56年5月以前(旧耐震基準)に着工の持ち家である」と答えられた方にお伺いします。

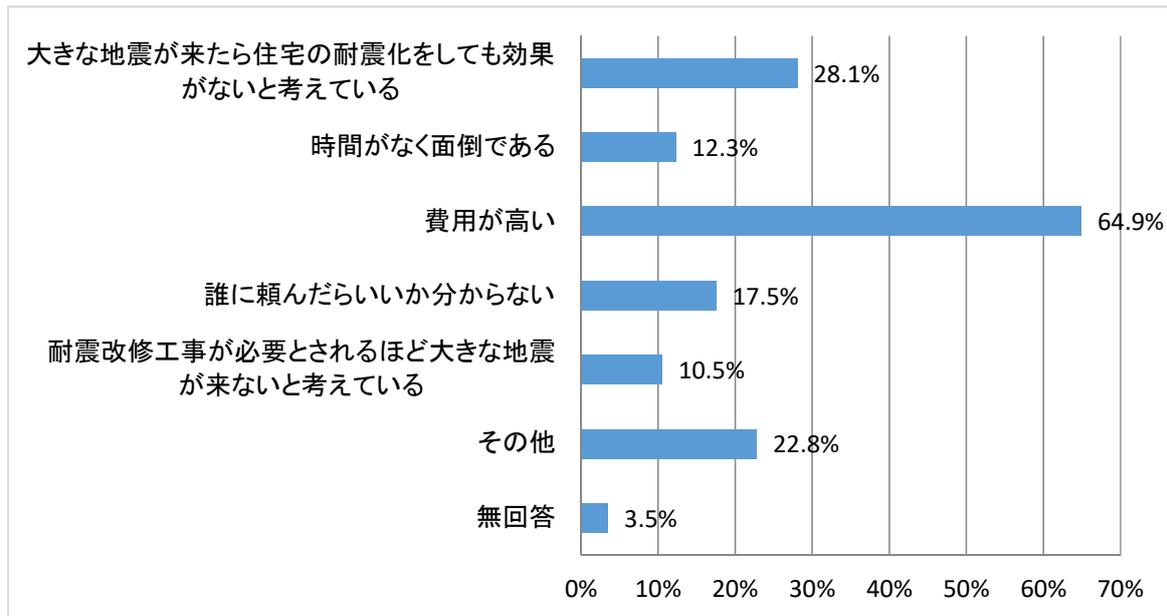
昭和56年5月以前(旧耐震基準)に建てられた住宅は、大きな地震によって倒壊の可能性が高いと言われています。あなたのお住まいは耐震性を調査し、必要な補強を行っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
耐震補強している	8	12.3%
耐震診断のみ行っている	10	15.4%
いずれも行っていない	47	72.3%
計	65	100.0%



〔問13-2〕 問13-1で「耐震診断のみ行っている」、「いずれも行っていない」と答えた方にお伺いします。
その理由であてはまるものをすべて選んでください。

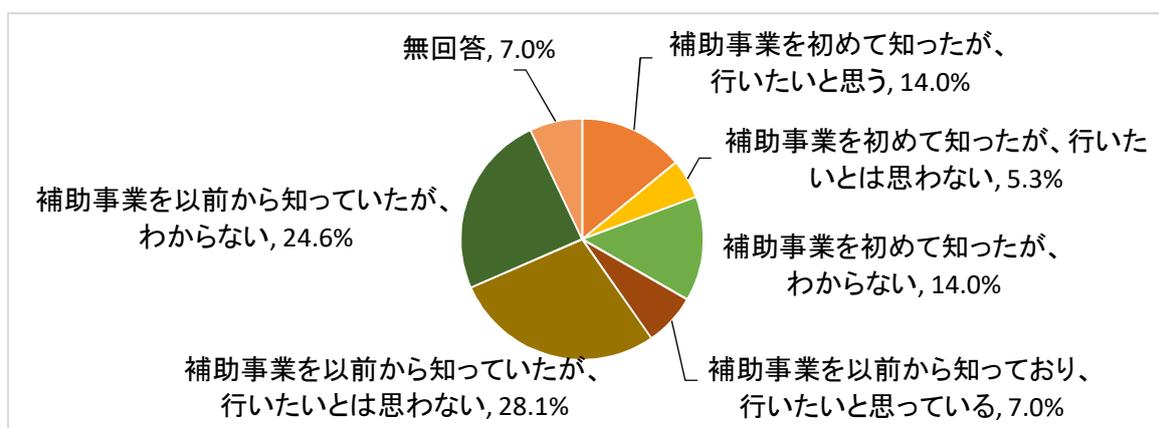
選択肢	回答者数 57	
	回答者数	構成比
大きな地震が来たら住宅の耐震化をしても効果がないと考えている	16	28.1%
時間がなく面倒である	7	12.3%
費用が高い	37	64.9%
誰に頼んだらいいか分からない	10	17.5%
耐震改修工事が必要とされるほど大きな地震が来ないと考えている	6	10.5%
その他	13	22.8%
無回答	2	3.5%



〔問13-3〕 問13-1で「耐震診断のみ行っている」、「いずれも行っていない」と答えた方にお伺いします。

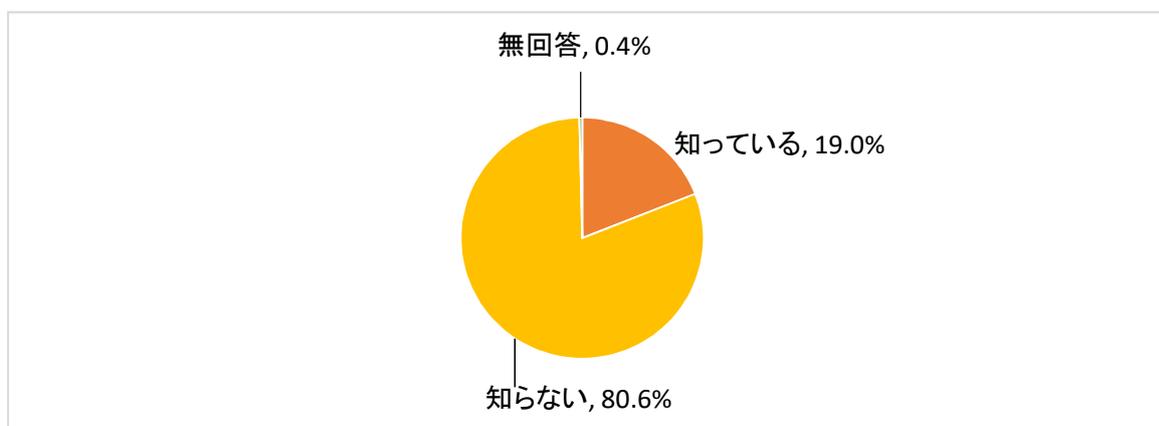
県では、平成23年度から市町と連携して、民間住宅の耐震診断や耐震改修工事に要する費用の一部を助成する事業（補助事業）を実施していますが、今後、補助事業を利用して耐震診断や耐震改修工事を行いたいと思いませんか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
補助事業を初めて知ったが、行いたいと思う	8	14.0%
補助事業を初めて知ったが、行いたいとは思わない	3	5.3%
補助事業を初めて知ったが、わからない	8	14.0%
補助事業を以前から知っており、行いたいと思っている	4	7.0%
補助事業を以前から知っていたが、行いたいとは思わない	16	28.1%
補助事業を以前から知っていたが、わからない	14	24.6%
無回答	4	7.0%
計	57	100.0%



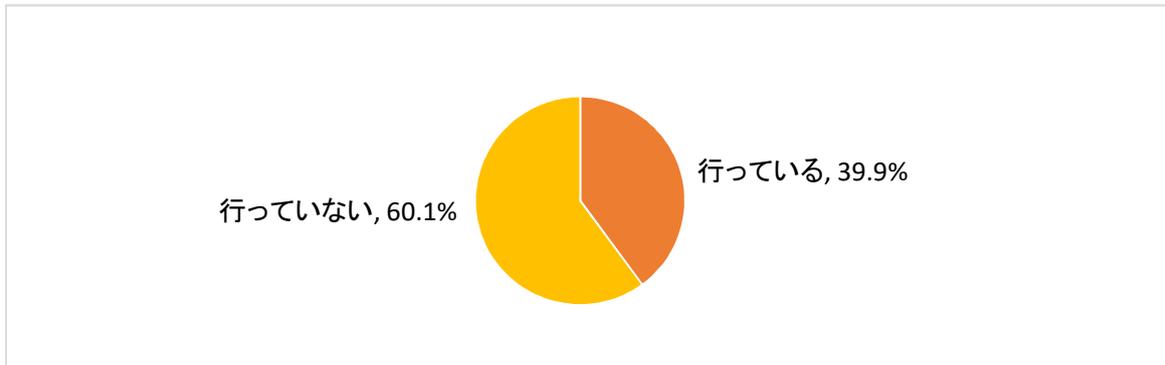
〔問14〕 平成30年度から、県では、住宅の耐震化をより一層推進するために、安価で短期間に耐震化できる「低コスト工法」の普及啓発に努めていますが、知っていますか。次の中からどちらか1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
知っている	51	19.0%
知らない	216	80.6%
無回答	1	0.4%
計	268	100.0%



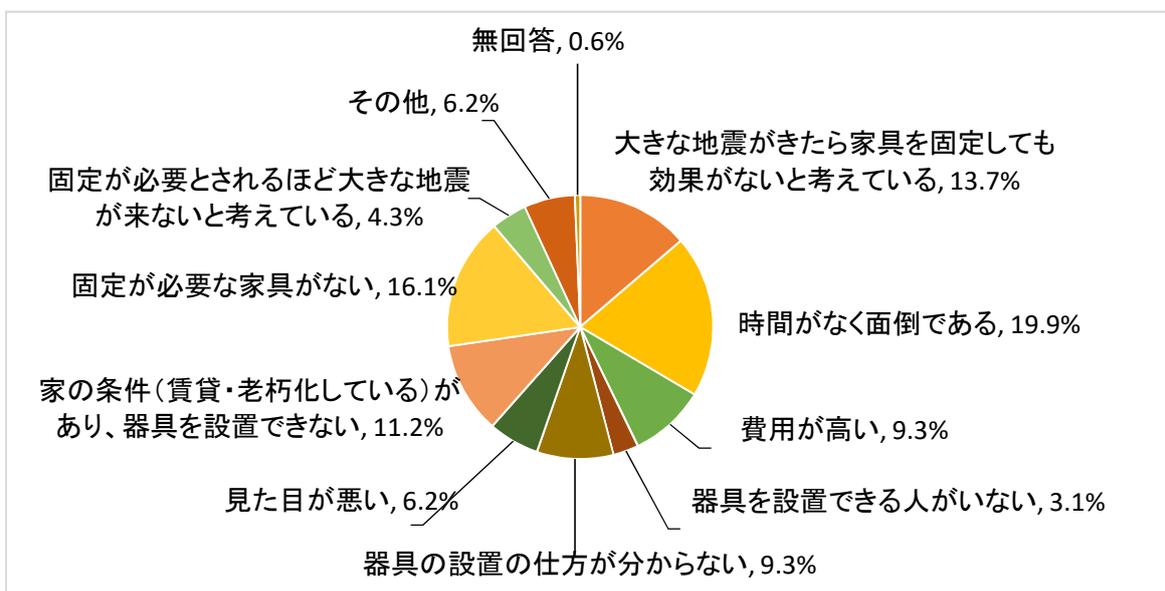
〔問15〕 あなたのご家庭では、地震に備えて、家具の固定化など家具の転倒防止対策を行っていますか。次の中からどちらか1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
行っている	107	39.9%
行っていない	161	60.1%
計	268	100.0%



〔問15-1〕 問15で「行っていない」と答えた方にお伺いします。行っていない理由について、最もお考えに近いものを次の中から1つだけ選んでください。

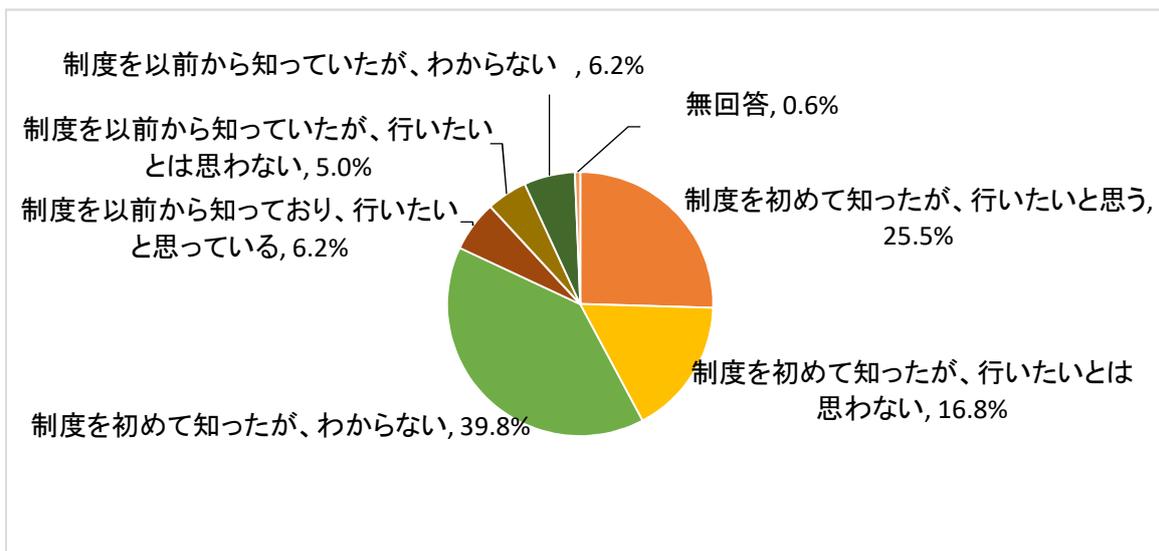
選択肢	回答者数	構成比
大きな地震がきたら家具を固定しても効果がないと考えている	22	13.7%
時間がなく面倒である	32	19.9%
費用が高い	15	9.3%
器具を設置できる人がいない	5	3.1%
器具の設置の仕方が分からない	15	9.3%
見た目が悪い	10	6.2%
家の条件(賃貸・老朽化している)があり、器具を設置できない	18	11.2%
固定が必要な家具がない	26	16.1%
固定が必要とされるほど大きな地震が来ないと考えている	7	4.3%
その他	10	6.2%
無回答	1	0.6%
計	161	100.0%



〔問15－2〕 問15で「行っていない」と答えた方にお伺いします。

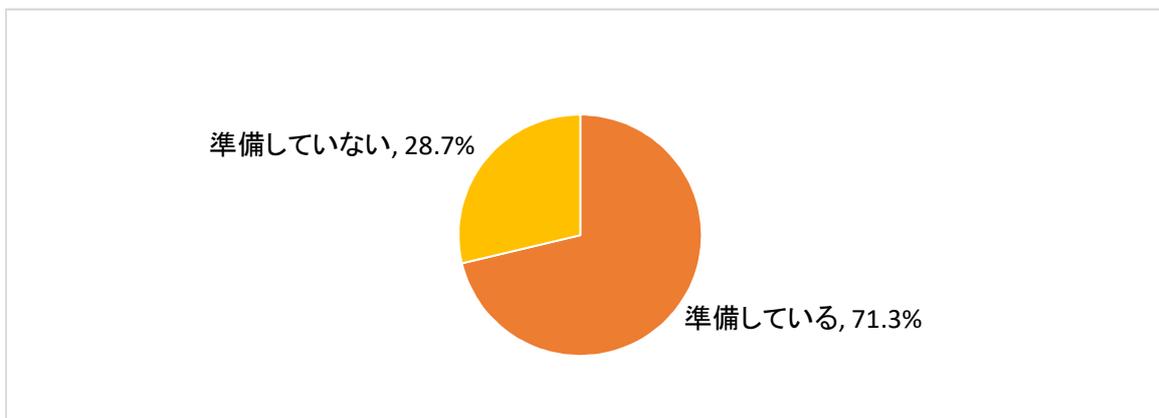
県では、令和2年度から、市町や香川県防災士会と連携して、家具の固定方法のアドバイスや固定器具の取付支援を行う「家具類固定サポート制度」を実施していますが、今後、この制度を利用して家具類の転倒防止対策を行いたいと思いませんか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
制度を初めて知ったが、行いたいと思う	41	25.5%
制度を初めて知ったが、行いたいとは思わない	27	16.8%
制度を初めて知ったが、わからない	64	39.8%
制度を以前から知っており、行いたいと思っている	10	6.2%
制度を以前から知っていたが、行いたいとは思わない	8	5.0%
制度を以前から知っていたが、わからない	10	6.2%
無回答	1	0.6%
計	161	100.0%



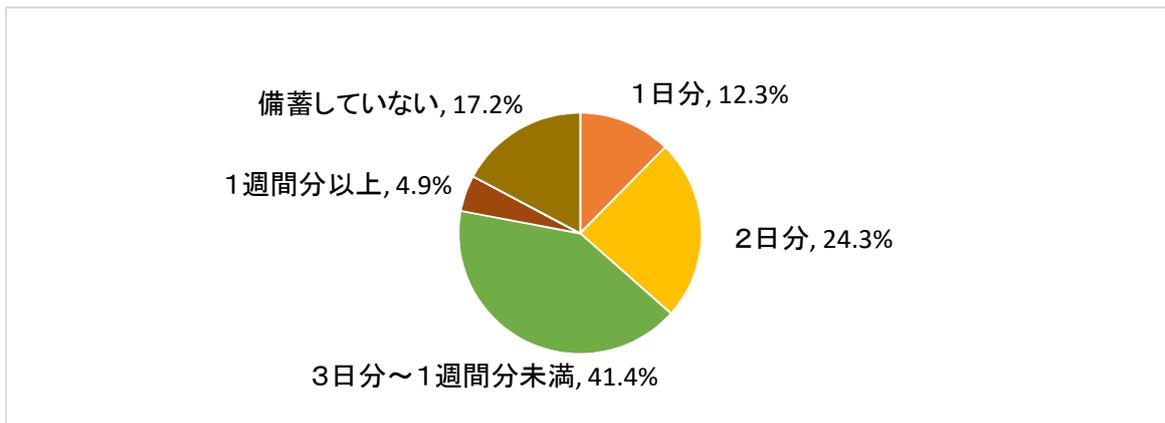
〔問16〕 あなたのご家庭では、非常食料、飲料水、常備薬、携帯ラジオ、懐中電灯など、避難の際に必要な物をすぐ持ち出せるよう準備していますか。次の中からどちらか1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
準備している	191	71.3%
準備していない	77	28.7%
計	268	100.0%



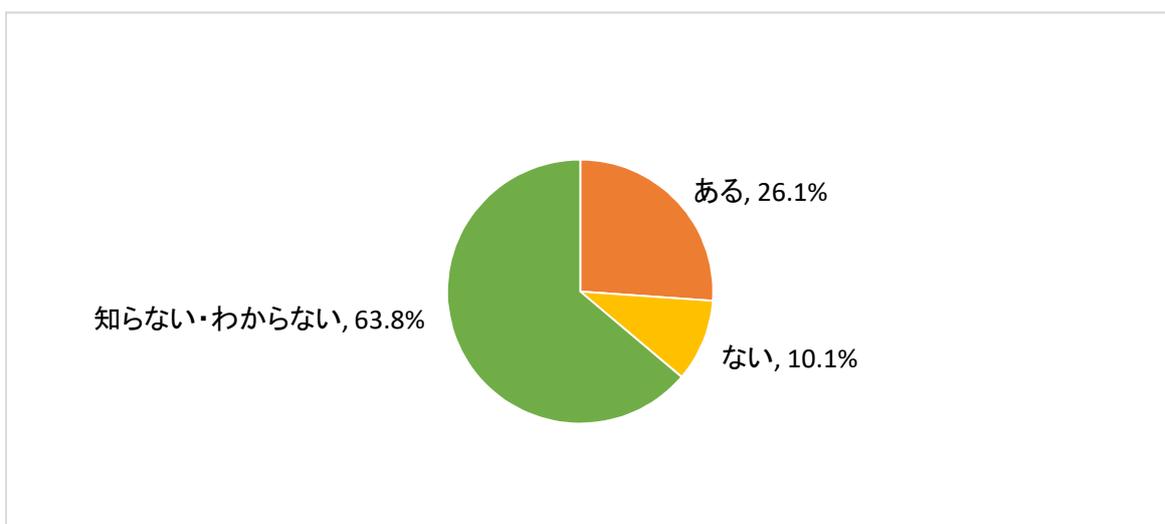
〔問17〕 あなたのご家庭では、地震により交通手段、電気、水道などライフラインが使えなくなった場合に備えて、食料、飲料水などを何日分備蓄していますか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
1日分	33	12.3%
2日分	65	24.3%
3日分～1週間分未満	111	41.4%
1週間分以上	13	4.9%
備蓄していない	46	17.2%
計	268	100.0%



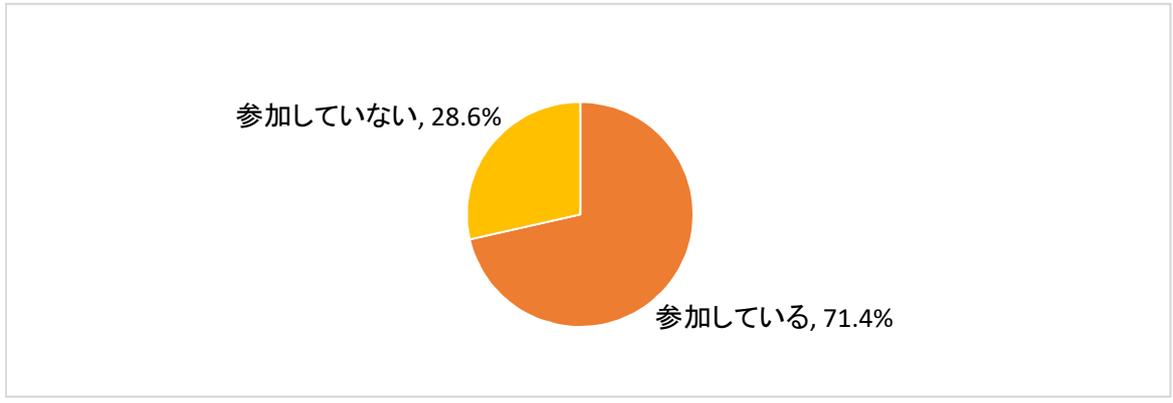
〔問18〕 あなたの住んでいる地域に、自主防災組織はありますか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
ある	70	26.1%
ない	27	10.1%
知らない・わからない	171	63.8%
計	268	100.0%



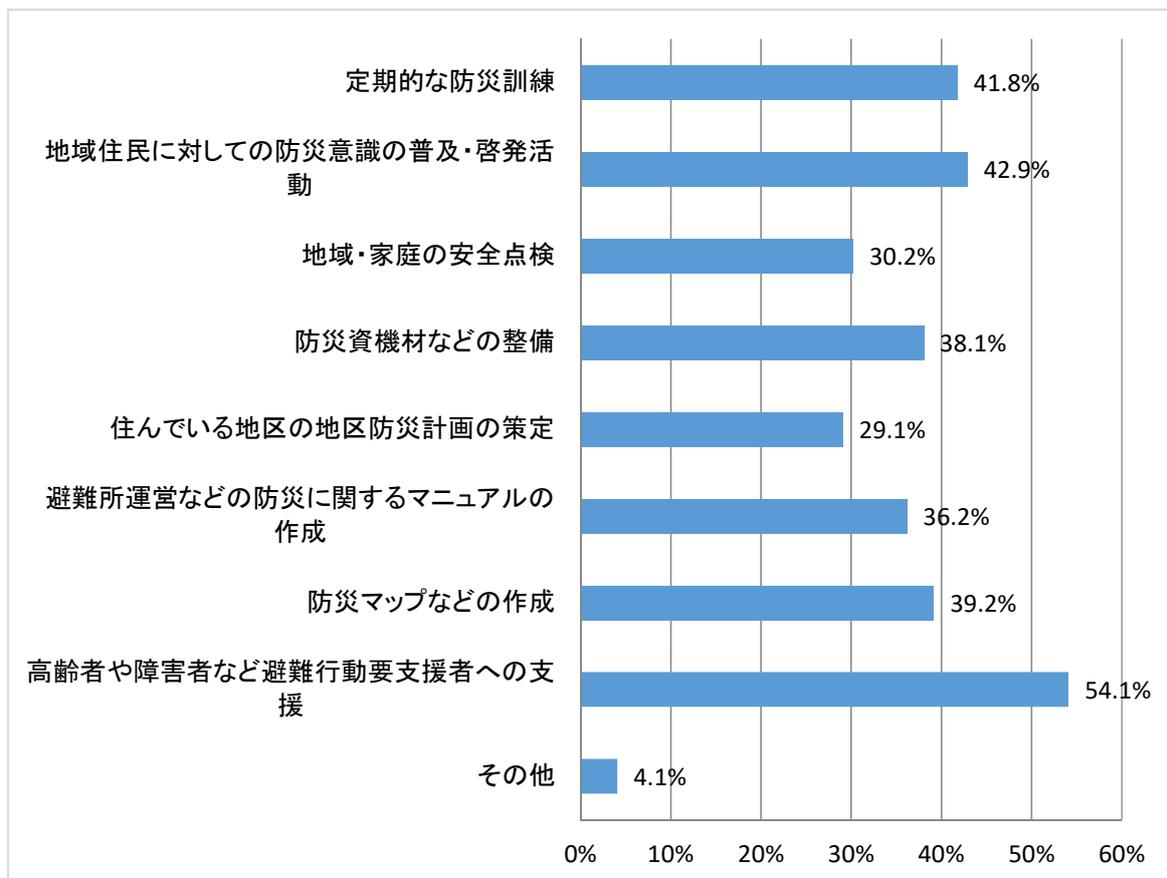
〔問18－1〕 問18で「ある」と答えた方にお伺いします。
あなたまたはあなたのご家族は、自主防災組織の活動に参加していますか。次の中からどちらか1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
参加している	50	71.4%
参加していない	20	28.6%
計	70	100.0%



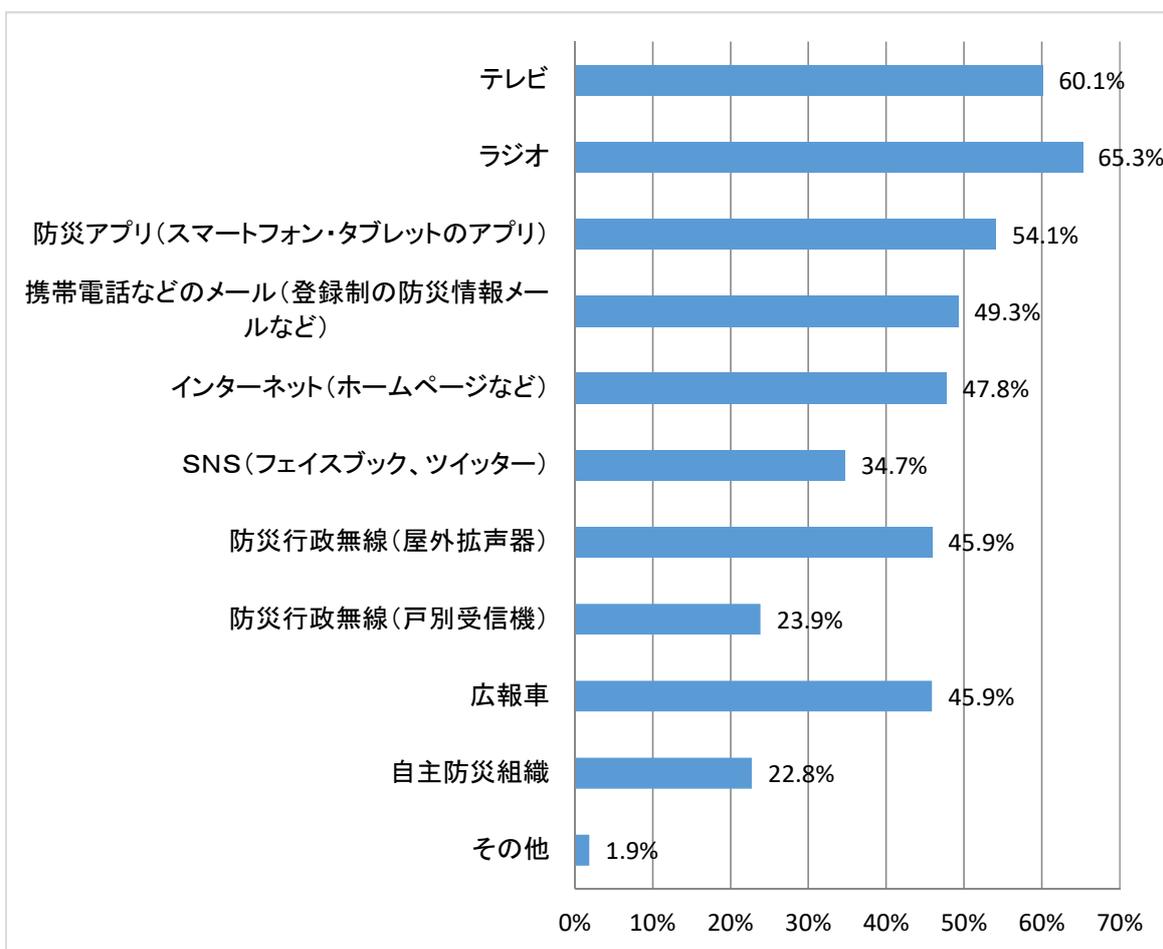
〔問19〕 災害発生時以外では、あなたが住んでいる地域の自主防災組織にどのような活動を期待しますか。あてはまるものをすべて選んでください。

選択肢	回答者数 268	
	回答者数	構成比
定期的な防災訓練	112	41.8%
地域住民に対する防災意識の普及・啓発活動	115	42.9%
地域・家庭の安全点検	81	30.2%
防災資機材などの整備	102	38.1%
住んでいる地区の地区防災計画の策定	78	29.1%
避難所運営などの防災に関するマニュアルの作成	97	36.2%
防災マップなどの作成	105	39.2%
高齢者や障害者など避難行動要支援者への支援	145	54.1%
その他	11	4.1%



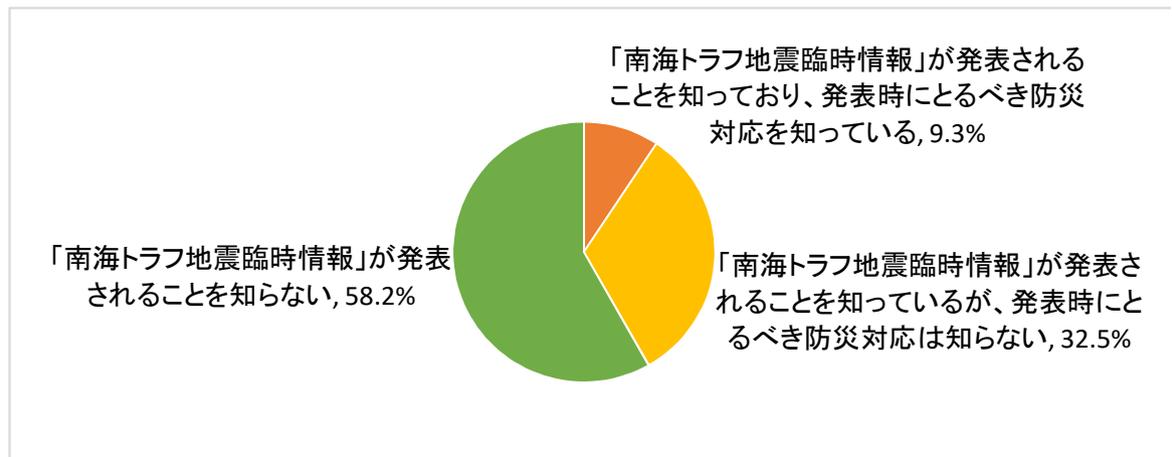
〔問20〕 あなたは、南海トラフを震源とする地震等の大規模災害発生時にどのような情報収集手段が有効だと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

選択肢	回答者数 268	
	回答者数	構成比
テレビ	161	60.1%
ラジオ	175	65.3%
防災アプリ(スマートフォン・タブレットのアプリ)	145	54.1%
携帯電話などのメール(登録制の防災情報メールなど)	132	49.3%
インターネット(ホームページなど)	128	47.8%
SNS(フェイスブック、ツイッター)	93	34.7%
防災行政無線(屋外拡声器)	123	45.9%
防災行政無線(戸別受信機)	64	23.9%
広報車	123	45.9%
自主防災組織	61	22.8%
その他	5	1.9%



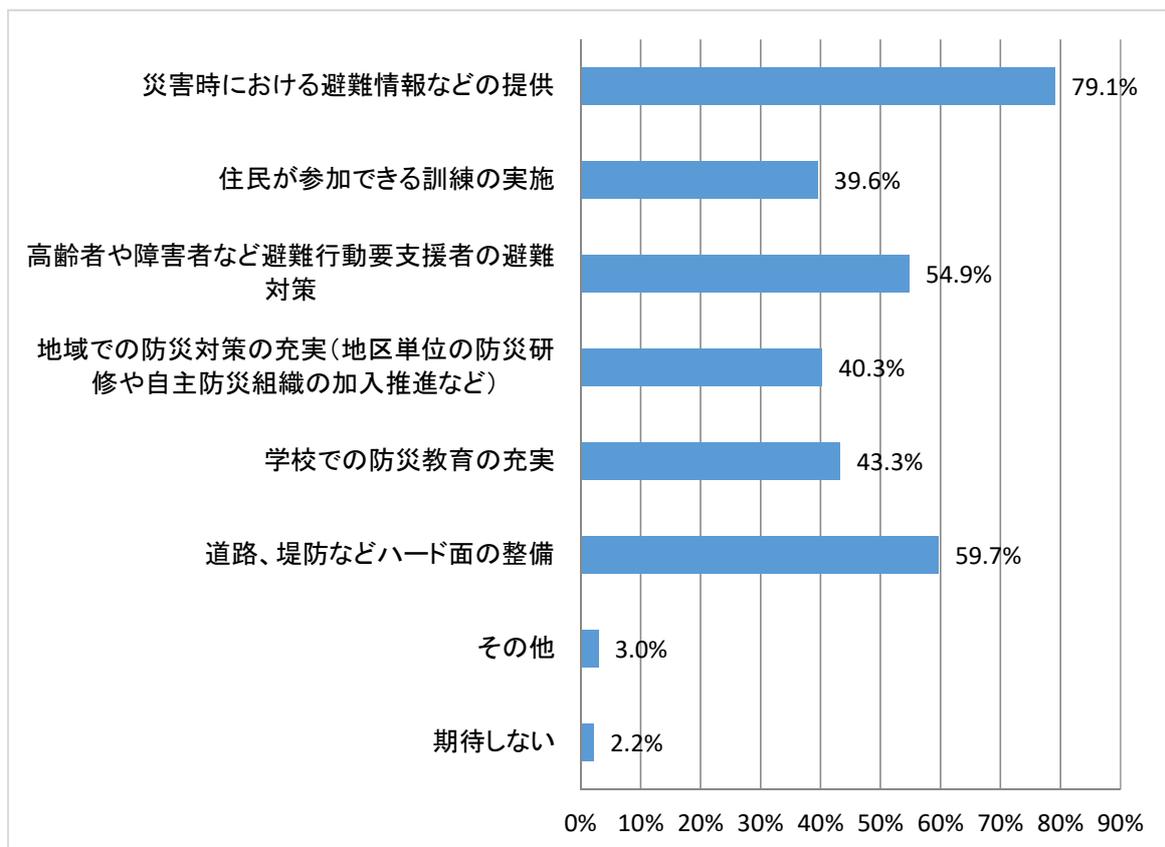
〔問21〕 あなたは、南海トラフ地震の発生可能性が通常と比べて相対的に高まったと評価された場合に、気象庁から「南海トラフ地震臨時情報」が発表されることを知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
「南海トラフ地震臨時情報」が発表されることを知っており、発表時にとるべき防災対応を知っている	25	9.3%
「南海トラフ地震臨時情報」が発表されることを知っているが、発表時にとるべき防災対応は知らない	87	32.5%
「南海トラフ地震臨時情報」が発表されることを知らない	156	58.2%
計	268	100.0%



〔問22〕 あなたは、県や市町が実施する防災対策としてどのようなことを期待しますか。あてはまるものをすべて選んでください。

選択肢	回答者数	
	回答者数	構成比
災害時における避難情報などの提供	212	79.1%
住民が参加できる訓練の実施	106	39.6%
高齢者や障害者など避難行動要支援者の避難対策	147	54.9%
地域での防災対策の充実(地区単位の防災研修や自主防災組織の加入推進など)	108	40.3%
学校での防災教育の充実	116	43.3%
道路、堤防などハード面の整備	160	59.7%
その他	8	3.0%
期待しない	6	2.2%



※ 表中の構成比は、四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合があります。